

第4回 三重県立白山高等学校「学校運営協議会」概要

平成30年9月21日(金)

於：白山高等学校 校長室

1 あいさつ

・ 白山高等学校長

本日はお忙しい中、事業所への訪問と学校運営協議会に参加いただきまして、ありがとうございます。台風の影響で第3回が抜けてしまいましたので、その間の学校の様子をお話します。まず、本校の硬式野球部が甲子園に出場いたしました。地域や同窓会の方々にはたくさんのお世話をいただき、本日を迎えているところです。また硬式野球部だけでなく、他の生徒たちも、積極的に部活動に取り組む姿が多くみられるようになってきていると思っています。陸上競技部や弓道部では、大会に出場し部活動の取組の成果があらわれています。また、文化部も地域の交流に参加するなどしております。3年生においては、現在就職試験の最中で、その結果を待っている状態です。なお進路保障に関しても、手厚く行いたいと考えております。

さて現在、本校の行っている長期インターンシップは、全県的にも珍しいのではないかと思います。2年生では4日間の短期インターンシップを行っていますが、3年生の普通科では年間を通じて金曜日の午後に長期インターンシップを行っています。様々な成果は上がってきていますが、課題としては、受け入れ先の事業所数が減っていることがあげられます。今回、様子を見ていただいて、本校のインターンシップの内容や生徒の様子について、忌憚ない御意見をいただきたいと思っております。

・ 三重県教育委員会(岩崎指導主事)

日頃から、赤塚校長先生を始め、同窓会や地域の方々には御尽力いただきまして、ありがとうございます。甲子園出場に関しましては、監督や部長の先生方はもちろん、周りの方々の支えがあってこそだと思います。

さて、現在「社会に開かれた高等学校」ということが求められています。これは、高等学校が社会と密接に関わっていくべきであるという考え方です。インターンシップは、これの一つであると思っております。今日はインターンシップの様子を見させていただいて、生徒たちは楽しそうに作業をしており、本当にいい経験をしていると感じました。週に1回インターンシップをしているということで、デュアルシステムを実現されていると感じました。引き続き、発展させていければと思います。本日は活発な御協議、よろしく願いいたします。

2 自己紹介

・ 貴重な見学の機会をありがとうございました。自分にとってもいい体験となりました。実は白山町にいなながらも、初めて入る職場もありました。実習の様子では、楽しそうに取り組んでいる生徒を見ることができました。この取組は、就職活動に役立つことと思います。生徒にとっても、本当に良い体験であると思っております。

・ 今年度は白山高校硬式野球部が甲子園に出場しましたが、皆様の御協力によって無事終え

ることができたことと思います。白山町の地域の皆さんにとっても、甲子園出場という初めての経験となりましたが、白山高校のために何とかしようと一生懸命動いてくださいました。今後とも、御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

3 報告事項

- ・ 特になし

4 協議事項

(1) 白山高等学校のキャリア教育について

- ・ 3年生普通科「総合的な学習の時間」

地域の事業所にて、職場実習（長期インターンシップ）を実施

- ・ 今回は、地域の事業所見学に行ってくださいました。本日は担当の先生もいますので、事業所での様子を聞いていただきながら、委員の皆様には、御感想と御意見をいただきたいと思っております。ただ現在、担当の先生が2名しか戻っておりませんので、先に、委員の皆さんに意見と感想をお願いしたいと思っております。
- ・ 事業所の見学は、今年度で2年目となります。昨年度と比較すると、今年度は落ち着きがあったように思います。事業所がこのように、引き続き今年度も受け入れてくださったのは、先輩生徒の努力があってこそだと思います。
- ・ 消防署では白い布を使って、救護する方法を見せてもらいました。生徒は説明を聞いていましたが、自分も興味深く聞いてしまいました。生徒たちは、熱心に取り組んでいました。包装の仕事では、残念ながら、ラインでの仕事が終わっていて、袋詰めをしていました。製造では、4人の生徒が働く場所と内容が、それぞれ違いました。また、昨年度、この製造でお世話になった事業所に、その生徒が就職したと聞いています。これはインターンシップの成果だと思っています。食堂でも、残念ながら、作業が終わっていました。3年生で、週に1度このような経験をすることは良いとだと思っています。学校としても、今後とも続けてもらいたいと思っております。
- ・ 今回、見学をさせていただいて、長年の取組であるので地元の理解が得られていると感じました。例えば、昨年度は事務所の手伝いをしていただいたのに、今年度は現場に出してもらった事業所もありました。事業所は、昨年度の様子も踏まえて、このインターンシップの内容を考えてもらっているのだと感じました。また、消防署では「手伝ってもらおう」という内容ではなく、インターンシップにおける高校生用のメニューを考えてもらっていると思われました。事業所にとっては、手伝ってもらおうのではなく、メニューを別で考えてもらって、返って仕事が増えるのに、受け入れていただいているということになります。地域から学校へ、学校から地域へと繋がっているのは、まさにコミュニティースクールの成果だと思っております。

また、今年度甲子園出場、おめでとうございます。私も甲子園へ行きました。周りには御年配の方が多くて、隣の知らないおじいさんに「この夏、いい夢を見せてもらったね」

と言うと、「試合には負けたけど、白山高校には、いい夢を見させてもらった」と言っていました。その話をしている時に「僕、白山高校OB！」と知らない人から声を掛けられました。今回の甲子園出場で、自信を持って母校を語れるのは、素晴らしいことだと思います。

- ・ 今回の甲子園での野球応援では、本校の吹奏楽部も参加させていただきました。とてもいい経験になったと思います。私も中学校での始業式の校長挨拶で、応援グッズに着替えて、「この夏の思い出はこれです」から始まりました。大事にしたかったのは、選手の頑張りはもちろんのこと、それを支えてくれた周りの人々への感謝の気持ちがあったことです。「皆さんも、家庭や地域や学校の人に、日々お世話になっていることを忘れずに」と話しました。

週1回、通年でのインターンシップを行っているというのは、素晴らしい取組だと思います。年に20回程度と伺いました。生徒にとっても、貴重な体験だと思います。中学校でも職場体験を行っていますが、多くは3日間です。6月ごろに、30数か所にお世話になっています。

- ・ 今日は、4つの事業所を回りました。食堂ではお客さんがおらず、この時は仕事がなかったのですが、他の3つの事業所では一生懸命な生徒の姿が見れて、本当に良かったと思います。
- ・ 2つ質問したいのですが、よろしいでしょうか。2年生では、短期で4日間のインターンシップを行っていると聞きました。そして3年生では、この長期のインターンシップを行っているとのことですが、この2年生と3年生のインターンシップには関連性はあるのでしょうか。同じところでやっているのですか。それとも違うところですか。また、中学校でも職場体験は行いますが、それとの関連性はあるのでしょうか。
- ・ 2つ目は、この長期インターンシップに行って、事業所が合わない時はどうされていますか。途中での変更はしていますか。
- ・ 2年生と3年生の実習先は、一部の事業所で重なっています。また、今のところ、長期インターンシップ先の変更はありません。昨年度、途中で事業所の方から、事情で事業が続けられなくなった時は、インターンシップ先を変更しましたが、その時は関連している事業所を紹介していただきました。この「総合的な学習の時間」は必修科目で、単位を取らないと卒業ができませんから、なかなか変更ということはないです。中学校の職場体験では3～4日連続で行われ、学校から行ってそのまま帰るかと思います。昨年度はJR関ノ宮駅付近、今年はJR一志駅付近まで範囲を広げて長期インターンシップを行っていますが、これらの実習先は地元の中学校から紹介してもらったところでした。そういった関連性はあると思います。来年度に向けた新規開拓の事業所ですが、JR家城駅付近の花屋さんには良い感触をいただいています。また、地元のお酒の販売店でも来年度1名、お願いできそうです。部活動をやっている生徒も増えてきていますので、インターンシップ後、そのまま帰ることを考えないで済む学校の近くでのインターンシップが行えたらと思っています。

- ・ 高校教育課キャリア教育班の方で、中学校での職場体験も含めて10年間同じ事業所でのインターンシップが続いたら、表彰されるという制度があります。過去の調査の時に、中学校から実習先のデータをいただきましたが、残念ながら中学校で行っていた事業所とは被っていませんでした。
- ・ 実習先の事業所は、生徒が決めるのですか。また、生徒の希望は取るのでしょうか。
- ・ 希望は取るのですが、なかなか、その範囲内に収まりません。希望が集中する事業所もありますので。生徒には第5希望まで聞いています。生徒には「友だちと同じところという理由で決めないように」と伝えるのですが、やるなと言ってもやるので、困っています。
- ・ 中学校でも、友人同士で希望するというのがあります。この調整が難しいですね。
- ・ 中学校では事業所に「〇〇中学校の〇〇です。何月何日から職場体験をさせていただくので、よろしくお願いします」といった電話をさせます。その時、生徒はとても緊張しています。電話に慣れていないですね。白山高校ではしているのですか。
- ・ 2年生のインターンシップにおいて、「セルフプロデュース」といった形で、同じようにしています。
- ・ 2年生のインターンシップでは、4日間で事業所の都合で3日間になることもあります。また、お世話になるので、極力本人が出向いてお願いをするようには指導しています。御挨拶に行く練習もするのですが、正しく伝わらず謝りに行くこともあります。
- ・ 私も前任校で担任をしていた時期がありましたが、インターンシップをするというと「バイトしているのでいいんや」という生徒がいました。学校で行われていることは教育活動であり、教員がどんな目的を持って行うのか、どんな資質や能力を生徒に身につけたいのかを持っていないと、このような言葉には返すことができません。目的を失って「毎年やっているからやる」というように行為活動が目的となっていないか、時折振り返らないといけません。学校外でしか学べないことも当然あります。「僕は進学するからいいだ」という生徒もいるかもしれませんが、進学後には就職します。新学習指導要領でも、どんな資質や能力をどうやって身につけていくかが求められています。アクティブラーニングでもそうです。主体的に考える能力を身につけるには、どうしたら良いかが求められています。インターンシップに行って、失敗してもいいんです。ゼロで卒業していくより、何かを学んだ方が良いと思います。昔ではなかったことですが、今の生徒は学校から送り出して、引率して、監督してと、いろいろと手が掛かります。ただ社会が変わってきているので、社会が求める資質能力も変わってきていると思いますので、今の時代、インターンシップは必要なことだと思います。
- ・ 私は、ガソリンスタンドと福山自動車を担当しています。ガソリンスタンドでは今年、硬式野球部の生徒がガソリンスタンドで働いています。地元の人たちもよくお客さんとして来るので、本人も「応援ありがとうございます」と言いながら接客しているとのことです。学校の良い宣伝になっていると思います。また、福山自動車には、長期インターンシップを長く引き受けていただいています。昨年度と今年度は、自動車の専門学校に行きたいと言っている生徒が、お世話になっています。生徒に任せてもらったりしているので、

生徒たちは「今ここでやっているの、自分の得意なことになるわ」と嬉しそうに言っています。生徒は今後（専門学校や就職先）に、つながることをやっていると感じています。昔は、生徒が「行くのいやや〜」と言っていたこともありましたが、今では本人たちが始まる時間になったら勝手に行くようになりました。

- ・ リバーパーク真見の担当をしています。学校から歩いて15分程ですので、実質40分程の作業となります。内容は敷地内の草ぬきや水路の掃除をしています。生徒にとっては、歩いて行き草ぬきなど、掃除をして帰ってくるので苦手分野であるかもしれません。先週は午後晴れたので「行くぞ〜」と言うと、「え〜行くの〜」と生徒に言われましたが、これは仕事の一環としてやっていることなので、「仕事やったらあるやろ？」と話しました。仕事が嫌な時も、行かないといけないことがある。つらいことや苦しいことがあっても、行かないといけないことがある。粘り強さを伝えていきたいと思っています。
- ・ 私は一志にある事業所を担当しています。ガソリンスタンドと精肉店と花の店が担当です。花の店は希望をとる時に友人同士で希望したので、友人と少し喋っている時もあります。精肉店は男子生徒が1名なのですが、黙々と作業をしています。ガソリンスタンドは普段からあまり喋らない生徒が行っていますが、事業所の方で熱心に「お客様に挨拶ができる指導」をしてくださっています。最初はまずマスクを取ろう、次に声を出そう、声が出たら大きな声を出そう、その次は、笑顔で…とスモールステップと言いますか、少しずつできるようにしてもらっています。
- ・ 私は家城小学校と白山作業所を担当しています。家城小学校では花畑の手入れやお掃除、グラウンドのライン引き等をしています。現在「子どもにも関わりたいだろう」と配慮してくださいまして、月に1回授業に参加しています。前は体育館で体育に参加しました。小学2年生の子たちとドッチボールをしました。お花の手入れは虫を怖がったりしていますが、協力しあって作業をしていると思います。担当している4人とも、タイプの違う生徒が集まっていますが、グループで協力してやっています。白山作業所では、細かい作業を黙々と続けています。施設の方から、利用者さんとはあまり話さないようにとの指導もありますが、せっかくの機会ですので関わりたいという矛盾も感じています。
- ・ 事業所の方々には、甲子園の応援グッズを買っていただきました。硬式野球部の生徒と約束したからだそうです。でも、仕事を休業して甲子園へ行く訳にもいかなかったため、応援グッズを身に付けて作業してくださいました。
- ・ 私も今年、初めて見学に行きました。第一印象は、例外なく、生徒が本当に楽しそうにやっているなあと思いました。生徒が何をしているかは大体わかっているんですが、「何しているの？」と聞いたら、全員がきちんと敬語を使って答えてくれました。きちんとしているなあと感じました。「しっかりがんばりや！」というと「わかりました」と元気に答えてくれました。もしかしたら、最初の希望とマッチングしていないかもしれませんが、自分はこんなことができるんだとか、自分は気づかなかったけど、こんなことができるんだとか、自分にどんな力があるのか気付けると思います。半年間でここまで身に付いていることは成果だと思います。

一方で、引き受けてくれている事業所が少ないという課題はあります。自分の進路に直結できる場所があれば、なお良いとも思います。地域の御協力があってインターンシップは成立していると感じています。受入事業所がもっと増えるといいですが、課題です。

- ・ 歩いて20分、往復40分の事業所ですと、作業時間も短くなります。学校の近くの事業所であると、インターンシップの時間は確保できます。ところでいつもは、メニューをいくつか用意してもらっているようですが、今日はたまたま終わったところもありました。遠方の事業所ですと作業時間が短くなるため、難しいところも出てきます。例えば、1日インターンシップをするという検討もしましたが、結局は現状維持となりました。
- ・ ネットとなっているのは、この長期インターンシップが必修科目であるということです。この単位がないと卒業できないという点です。他校では学校設定科目として設定しているところもあるようです。
- ・ 1時間半では逆に短すぎて困ることもあるかもしれません。何かの事情で学校に残る人が出てきた場合には、学校にいる時間が長くなっても困りますので、悩ましいところです。
- ・ 金曜日是何時に終わって、学校に帰ってくるんですか？
- ・ 学校から遠い事業所へ行く生徒もいますので、金曜日は昼休みにSHRをします。昼休みの時間も少し長くにとって、移動に備えています。6限目終了後に放課となります。
- ・ 事業所の中には、お願いして、引き受けましようとなった後で、何人の人数を受け入れてもらえるのか、男女どちらがいいのかなど、聞いて決めているところもあります。現状ですと、今の2年生が3年生になった時には7～8人増えます。その分、受け入れ先となる事業所も増やさなければなりません。できれば余裕をもって行いたいので、事業所の数があると選べるので助かります。距離的な最大は、JR一志駅までと考えています。近鉄伊勢中川駅まで行くと事業所はありますが、巡回の教員が6限目終了までに学校に帰って来れません。JR伊勢大井駅や川口駅付近にも、昨年度行けそうな事業所があったのですが、結局ダメになりました。生徒の安全面を考えると、遠方ではJR一志駅の「ぎゅーとら」までかと思います。
- ・ みなさんで良い事業所があれば、ぜひ御紹介をお願いします。

(2) その他・・・ 特になし

5 連絡事項

(1) 次回の日程について

- ・ 10月31日(水) 18:00～ 全体会議(会議室)
- ・ 本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。次回は学校マネジメントシートの中間評価をしていただき、下半期に向けての御協議をしていただきたいと思います。御予定のほど、お願いいたします。以上をもちまして、第4回学校運営協議会を終わらせていただきます。

(2) その他・・・ 特になし